

[横浜市岩間市民プラザ]

令和5年度業務報告

[吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ]

※ 文中の事業欄において、

●：主催事業 ○：共催事業
を示します。

※ 文中の達成指標欄において、

□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市岩間市民プラザ
所在地	横浜市保土ヶ谷区岩間町1-7-15
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上5階建て
敷地・延床面積	建築面積 1,314.73 m ² 、延床面積 5,213.74 m ² (岩間市民プラザ占有面積 2,120. 93m ²)
開館日	平成3年7月27日

2 指定管理者

団体名	吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1
代表者	代表取締役社長 熊谷 典和
代表事業者設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【基本理念】

人をつなぎコミュニティを活性化するすべての市民にとっての広場となる

【業取実施にあたっての基本的な方針】

これまでの指定管理期間で取り組んできた共同事業体の構成企業の強みを活かした事業展開や強化ポイント、地域と育んできた関係性は堅持しつつ、さらに拡げていくことを目指します。そのため、新たに下記の6項目を運営における基本的な方針とします。

1. 全ての市民の「広場」

文化芸術とは市民生活の中、暮らしと共に存在するものです。市民プラザはその市民を受け入れる新たな広場となり、市民と協働しながら文化芸術を振興し期待される社会の形成に取り組みます。

2. 市民と協働し、伴走する

市民プラザの活動の主体は市民であり、地域文化を育てるのは市民自体です。市民の要望(意欲、意思)を大切にします。つまり私たちの役割は専門的な知見を背景に、市民の活動を支援し伴走することです。

3. 多層のネットワークをコミュニティに創る

市民プラザが総合的文化芸術推進の視点に立ち、市民、NPO等団体、企業、教育機関、福祉機関、行政と関係を結び、相互に連携協力し、継続的な関係性を維持し、文化的コモンズの核となるよう努めます。

4. 包摂型文化芸術振興

市民プラザの施設内外を問わず、事業、運営、管理すべてにおいて、誰もが参画できる、排除される人がいない取組みを進め、全ての人を対象とした、社会包摂を前提とした活動を推進します。

5. コミュニティを活性化していく人材の育成

人材育成は地域の活性化にとって重要であり、子どもの次世代育成や創造的活動だけではなく、文化芸術の力を活かし社会的課題解決につなげるコーディネーターや、サポート人材の育成も促進します。

6. 市民プラザ2館の連携、かつ3館連携、さらにその先のネットワーク化

市民プラザは南区と保土ヶ谷区に位置しており、3館連携の関内ホールは中区で近隣区であり、これまで通り連携を続けていきます。さらに他地域施設や団体などとの連携も進めていきます。

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

第二期指定管理提案書に掲げた基本方針や諸業務の達成に向け、新たな取り組みへ着手するとともに継続業務を確実に遂行することに努めました。新型コロナウイルスの影響が今後も継続するであろうという予測のうえ、利用者に安全と安心を提供する施設運営となることを心掛けました。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

利用者の気持ちにそった施設運営ができるよう努めました。特に、初めてのご利用の際にスムーズに施設を利用できるようなお声がけや申込方法等の丁寧な説明を心掛けるとともに、施設を試用する機会を設けました。来館者・利用者のニーズの把握に努め、日々の業務にフィードバックするようスタッフ間で情報共有しました。

また、ターゲットにあわせた広報手段で施設の情報を発信するとともに、施設の説明会や、既存の利用者と新規利用が見込まれるお客様をマッチングする取り組みなどを行い、施設の周知促進と利用者層の拡大を図りました。利用率増や総来場者数増はコロナ禍前には及びませんが、戻りつつあります。

ウ 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

楽器、朗読、作品鑑賞など様々な講座を開催し、身近な場において文化芸術を体験できる機会をつくりました。講座・体験・参加など多様な糸口をもつ、文化芸術と身近に出会える機会を提供できました。

文化芸術を切り口としながら地域資産を顕在化させる市民のさまざまな取り組みとも連携し、施設の外にも文化芸術と身近に出会える場をめざし、地域の団体と共同での事業も実施しました。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

子どもにとって初めて鑑賞する文化芸術や、初めて発表するステージ体験などの機会を提供しました。

次代を担う子どもたちが文化芸術と出会い、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験し豊かな創造性や感受性を育むための事業を行いました。アンケートやインタビューをおこしたニーズの調査を行い、親しみやすくわかりやすい事業になるべく努めました。近隣の保育園等の方とともに、園児さんたちの絵画展を実施することができました。今年度は地元の文化団体や文化活動をする方々のご協力を得ての事業も実施出来ました。このような活動が、文化芸術の担い手や活動を支える層を厚くすることにつながると思います。

オ 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

「文化芸術の力で人と街と施設を繋げる」ことを目標として、各種事業に取り組みました。地域団体との協力を通じて、市民と施設の良好な関係を築き、地域コミュニティの一員として活動出来ました。

近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのつながりを作ることに努めました。個別に館スタッフが訪問する、会議等を通じてして関係性をつくる、継続した情報交換や共同事業・連携事業を実施することに努めました。地域のさまざまな取り組みをつなぐ役割を担い、市民活動が相乗効果を発揮できるよう支援するにはどうするか、地域の活性化に貢献するにはなにができるか、個別に各団体との話し合いを続けています。

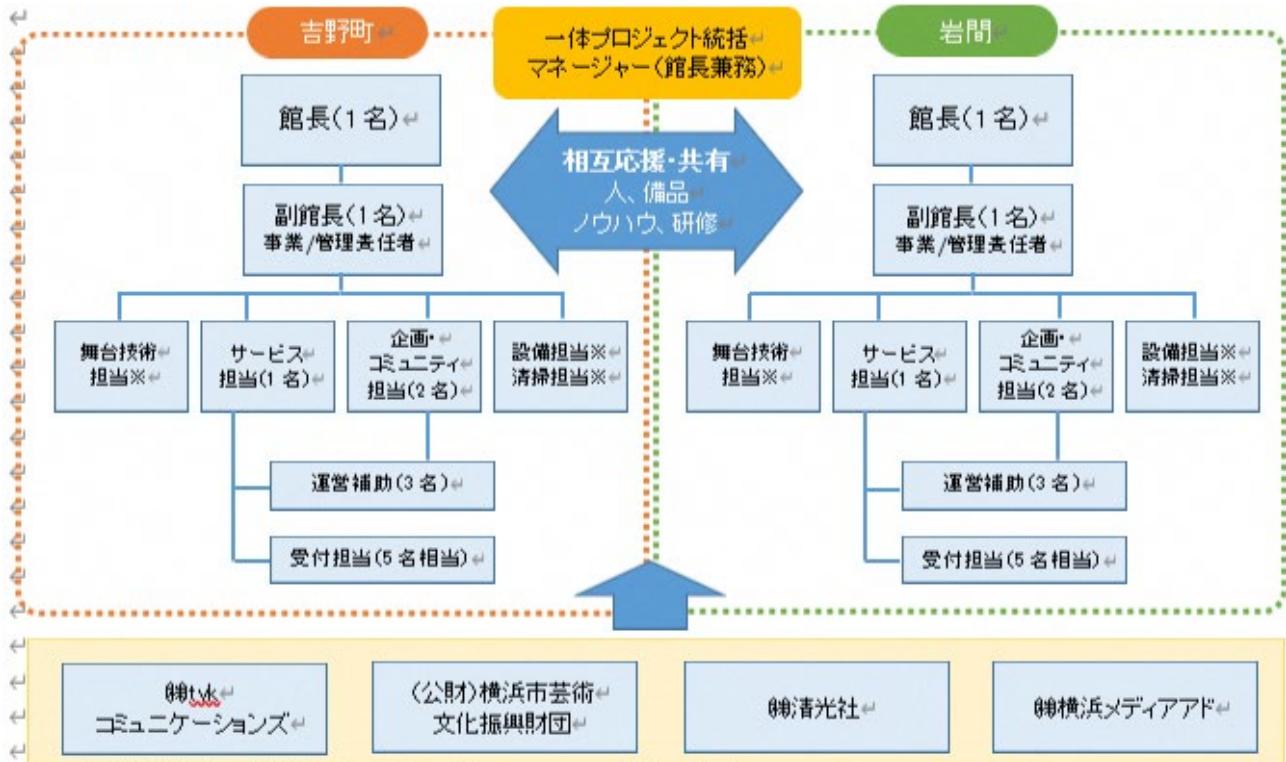
カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設の維持に努めました。館内他団体と連携しながら万一を想定した運営を行いました。効率的な経費の執行や収入増の取り組み等に努めました。

キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し施設運営を継続する

感染状況に応じたリスク管理に基づく自主事業運営を行いました。ガイドラインの遵守や利用人数の管理、消毒等を継続して実施しました。感染症の影響が大きい時期は大幅な収入減は避けられませんが、経費節減と助成金等の外部資金導入に努めました。

4 運営組織の構造、人員配置



共同事業体各社から文化施設での実務経験のある職員を配置します。統括責任者である館長、実務チーフである副館長には、文化芸術のみならず管理・運営（貸館等）・事業全般に精通し地域や関係機関と密接な関係を築ける、経験豊富な職員を配置します。

コミュニティ促進及び市民プラザの地域コミュニティ拠点施設化という今期の重要な課題に対しては、2館で一体的な取組みを行うプロジェクトを組織的に立ち上げます。

職員全員が、お客様対応、受付業務、貸館業務等に習熟し、安定した運営を実現できる組織体制とします。

舞台技術、設備、清掃各担当には、専門的な知識と経験を有する職員を配置します。

自主事業や突発的な施設不具合などの際は、両プラザ相互の人的応援に加え、共同事業体各社がバックアップします。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は5類に移行となり、各種使用制限等も緩和され、通常の施設利用が可能な状況となりましたが、人が集まることへの精神的な抵抗の払拭には、時間がかかりました。

5類移行後も基本的な使用物品の消毒・消毒液の設置・手洗い喚起の掲示物は継続し来館者が安心して当館の事業に参加できる環境作りに努めました。

事業収支については、事業全体としてはバランスの取れたものとなりました。

1月には、偕恵いわまワークスと共同で初の試みとなる「いわまオープンデー」を開催し、地元で活動している音楽や絵画の団体の協力による体験教室等を行うことで、地元各種団体・グループとのつながりを作り始めています。

(2) 施設運営

利用率の点から見ると、新型コロナウイルス感染症による使用制限前の水準に戻りつつありますが、ホールやギャラリーにおける本番（興行等一般公開されるもの）の利用はまだ戻ってきておりません。利用料金収入以外の収入を得るべく、チケットの受託販売や、催し物案内への広告掲載営業を行いました。

1月に開催した「いわまオープンデー」では、体験教室の合間にホール紹介ツアーを開催する、ギャラリーの目的外利用についても計画的に積極的に誘致する等の利用率アップにつながる試みを行いました。

日ベースでは、ホールの利用率はある程度、新型コロナウイルス感染症以前の水準に戻りつつありますが、一コマ予約が多い傾向にあります。コマ単位の利用率アップのための工夫（必要以上の値下げを伴わない）が必要です。

また、10月の予約システム更新にともなう混乱は、利用者・施設スタッフ両者へかなりの負担をかけました。帳票類の不具合は一部まだ修正されていないものがあります。また、当初予定の利用料金のオンラインによる決済は実施されず、窓口のキャッシュレスについても、実施は令和6年度に持ち越しました。

(3) 施設管理

当期は雨漏り・水漏れに悩まされた1年でした。令和3年度の外壁改修工事後、あらたな雨水と思われる漏水が頻発、経路や状態の観察のために点検口を設置するなど調査を進めている状況です。施設建物全体に影響がでているため、早急の対応が必要と思われます。

小破修繕については都度対応し、利用者にご不便をおかけしないよう心がけておりますが、舞台機構や消防設備等、大きな設備については、横浜市への報告・相談をこまめに行っております。

当期に行われた子メーター更新工事は全館の入居者にかかわるものでしたが、偕恵いわまワークス、ほどがや国際交流ラウンジ、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころサテライトの依頼を得て、岩間市民プラザが立ち会って対応しました。また、防災等リスクマネジメントについては各社（各者）と日常的に連携をとりつつ、対応方法の確認や訓練の実施に取り組みました。

(4) 収支

共同事業体それぞれの専門性を活かしての各方面でのコストカット、テレビを利用しての広報活動や、新聞等を利用しての事業告知による収益向上を図るなど、年間を通じて経費の効率化、事業収支の安定化につとめました。

11月中旬に「横浜市市民利用施設予約システム」が更新されました。旧来のシステムとは一部運用が変更されており、直前の施設利用については、料金未払いのまま当日を経過する期間が長くなっています。このため、以前に比べていわゆる「ノーショー」が増えており、この点システムが改善されないならば、収益の悪影響が心配です。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

横浜市市民プラザ指定管理者業務の基準に定めのある計画書・報告書等の各種書類については、横浜市所管課の要請も踏まえつつ適時適切に作成しました。業務評価にあたっては、完了確認表や自己評価表を作成するとともに、行政評価ならびに選定評価委員の評価を真摯に受け止め、必要な項目は改善するなどP D C Aサイクルをまわし業務の品質向上に繋げます。

(6) その他

当期は岩間市民プラザ・吉野町市民プラザ・関内ホールの3館連携事業「スクランブルダンスプロジェクト」を実施しました。3館の目指す共生社会の中でダンスを通じて、地域に暮らす人たちの交流が広がることを目的としたもので、N P O法人L A N D F E Sとの共催、偕惠いわまワークスの協力を得ることができました。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	貸館利用率	ホール	88%	93%	93%	—	95%	—
		ギャラリー	47%	54%	41%	—	57%	—
		リハーサル室	54%	74%	48%	—	75%	—
		レクチャールーム	64%	60%	61%	—	64%	—
		スタジオ	81%	81%	84%	—	84%	—
2	総来場者数	46,084 人	58,000 人	60,199 人	—	—	60,000 人	—
3 ★	利用者アンケート回収率	37%	60%	46%	—	—	60%	—
4 ★	利用者インタビュー	5 件	20 件	20 件	—	—	20 件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績			
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	受付時、打合せ時に、コロナ禍における利用についての不満点、ご意見等聴取		
		R 5 達成指標	利用者アンケートによる現状把握		
		R 5 実績	利用者アンケートおよび受付で口頭でのインタビューによるご意見等の聴取を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート等の料金が安いのは良いが、ホールの席が狭い（特にコロナの際に1席おき指定席だったため） ・更新後の予約システムがわかりにくい。対面のサービスセンターを無くさないでほしい。 ・抽選に当たったのにログインできないなどの不具合が多すぎる。 ・事前通知なく、予約期限変更等があった。ガイドブックに記載されているルールとも違うので、混乱する。 等、今年度は、設備についてや予約システムについてのご意見・クレームが大変多かった。また、館側にできることにも限りがあったので、大変に心苦しかった。		
		R 6 実績	—		
		R 7 実績	—		

		R 8 達成指標	利用者インタビューによる改善効果の検証
		R 8 実績	—
2 ★	利用者と施設をつなぐ「ピアノプラン」、利用者同士をつなぐ「来て見て市民プラザ（仮称・新規）を実施する	R 4 実績	ホール体験のための「ピアノプラン」を実施。
		R 5 達成指標	普段施設を利用されてない方が来館利用するきっかけとなる。
		R 5 実績	いわまワークスのイベントに合わせて「オープンデー」として、利用団体によるショーケース、楽器体験等のWSを実施。普段プラザをご利用されていない方の利用機会の場を設けた
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	文化芸術活動に参加したい人を、募集する団体につなぐ。
		R 8 実績	—
3 ★	利用者の年代や居住エリアを分析し、ターゲットに合わせた広報手段で発信する	R 4 実績	QRコード活用のアンケートを試行したが、反応は紙に及ばず、WEBによる発信にはさらに工夫が必要。
		R 5 達成指標	来館者アンケートを実施、分析して広報手段について再確認・見直しを行う。
		R 5 実績	他館でのチラシ配架の他、相鉄沿線や地域の方々の来館が見込まれる事業については、広報よこはま保土ヶ谷区版、広域のお客様が見込まれる事業については、電波媒体でのスポットCM、いわまワークスとの共催事業については、タウンニュースに記事の掲載など、事業によって広報媒体を選んで広報活動を行った。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	これまでの来館者の年代・エリア推移を精査し、結果を検証する。
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取組む事項

皆恵いわまワークスの通所者と地域の方対象の「わくわくマーケット」実施にあわせて「いわまオープンデー」を実施し、市民プラザご利用の音楽グループ等地域の団体のご協力の元、各種体験講座を実施したところ、今まで市民プラザ建物3～5階に来場されたことがなかった、という方のご利用がありました。また、スタジオやホールなどのご利用ご検討の方にとって見学の機会にもなりました。

(2) 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	体験型事業の事業数および実施回数	4事業 78回	3事業 25回	6事業 80回	—	—	5事業 30回	—
2	アウトリーチ事業の実施回数 ホール	1回	7回	1回	—	—	10回	—
3	来場者（参加者）満足度	4	4.5 (5段階)	4.2	—	—	4.5 (5段階)	—
4 ★	講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	7事業 13回	5事業 15回	6事業 12回	—	—	5事業 15回	—
5 ★	横浜トリエンナーレ、横浜音祭り、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 参加事業の開催	1回	1回	1回	—	—	1回	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	アンケートを実施。日常から来館者のニーズの把握に努めた。
		R 5 達成指標	事業の参加者アンケートを分析し、次の企画に分析結果を生かす。
		R 5 実績	参加者アンケートに記載された希望を聴取し、事業内容に反映させることに努めた。映画上映会などは具体的なリクエストが書かれているため、手配可能なものであれば、ご意見を反映させていただいた。定期的に開催しているコンサートの場合は、アンケートに書かれたご希望（演奏楽器・曲目等）を共催者と共有し、企画時の参考とさせていただいている。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業の参加者アンケートをこれまでと比較し、達成度の推移を見る。
		R 8 実績	—
2 ★	文化芸術活動に役立つ講座の開催	R 4 実績	映像制作講座以外、おおむね実施。
		R 5 達成指標	来館者のニーズを把握し、今後の企画に生かす。
		R 5 実績	事業参加者の反応を見て、企画内容を考慮、また、来年度以降の事業を企画。楽器体験講座などは、既存のものとは別のものを、6年度にまずは単発での開催を行う予定である。
		R 6 実績	—

		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	過去の参加者のデータをもとに、講座開催の成果の検証を行う。
		R 8 実績	—
3 ★	アウトリーチ事業を地域のアーティストや利用団体と協働で開催	R 4 実績	地域イベントの中止により地域アウトリーチは断念。来年度以降の実施の準備として、地域団体のホール利用を誘致。
		R 5 達成指標	地域のアーティストや団体と協働し、普段施設に来館されない方々に、芸術文化に触れていただく機会を提供する。
		R 5 実績	プラザの利用団体の協力を得て、「オープンデー」で体験事業を実施。普段来館されない方の利用を得ることが出来た。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	あらたに施設を利用し始めたアーティストや団体と、新しいイベントを開催する。
		R 8 実績	—
4 ★	オンラインイベントの開催	R 4 実績	主催事業の収録動画の発信を実施。
		R 5 達成指標	施設主催の講座に参加する受講者が、オンラインで成果を発表できる機会を作る。
		R 5 実績	主催事業の収録動画の発信を実施。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査を行う。
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取組む事項

年間シリーズの講座以外に地域のお教室の協力により単発での書道講座を実施。また、「オープンデー」では普段市民プラザとしては体験機会の少ないボッチャ、地域のグループによる絵画体験などを実施しました。利用者の文化芸術活動をはじめるきっかけづくりになったと同時に、地域で活動する団体・グループへの協力ともなりました。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子どもや親子連れをターゲットとした事業数	8事業 14回	5事業	7事業 12回	—	—	8事業	—
2 ★	学校や保育園と連携した事業	6事業	3事業	6事業	—	—	3事業	—
3 ★	市民とともに企画・実施する事業	3事業	3事業	3事業	—	—	3事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	近隣の文化団体の状況把握	R 4 実績	近隣の団体を訪問し、イベントを誘致
		R 5 達成指標	アートネットワーク会議を開催し、状況を把握する。
		R 5 実績	<p>地域の団体と協力した事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> いわまオープンデーにおいて公募し、地域の文化団体の協力を得てホール等での体験講座、ミニコンサート、ワークショップなどを開催した。 「東海道風景街道」及び保土ヶ谷図書館協力の「東海道魅力発見講座(ホール)」及び「写真パネル展(ホワイエ)」を実施した。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アートネットワーク会議から生まれた活動を支援する。
		R 8 実績	—
2	子どもたちや学校の定性分析(インタビュー調査)	R 4 実績	近隣保育園に事業の協力を依頼した際、事業等に関するご意見を伺うことができた。
		R 5 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に3件反映する。
		R 5 実績	<p>近隣保育園のご意見を「お絵かき展」に反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般の方には園児さんのお名前がわからない(が家族にはわかる)タイプの表示方法に変更した。施設側も園児のお名前等は預からない。(個人情報保護のため) 今回折り紙の作品展示もあり、見に来た方も折り紙を折って展示する、観覧者参加型の形にした。 <p>また、ご協力いただいた保育園・幼稚園のイベントチラシを掲示するなど、広報協力をすることが出来た。</p>
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に5件反映する。
		R 8 実績	—
3 ★	若い世代の文化芸術活動を応援する事業の実施	R 4 実績	「U25 プラン」を実施。
		R 5 達成指標	「U25 プラン」「ジュニア割引」「ウェルカムジュニア」等を実施し、若い世代の利用を応援する。
		R 5 実績	レクチャーコンサートではジュニア料金を設定した。小中学生を対象としたホールでのグランドピアノ体験が好評だった。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	近隣・地元の保育園・幼稚園・小中大学校と連携し、より積極的に活動を応援する。
		R 8 実績	—
4 ★	文化団体や文化活動をする人の活動に協力	R 4 実績	地域の文化団体との共催事業の実施。当該団体への広報協力実施
		R 5 達成指標	地域の文化団体が活動する際、広報などの協力をする。
		R 5 実績	一部自主事業での「学割」設定は継続。「オープンデー」では協力いただいた地域の団体の発表・メンバー募集の協力等を行った。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の文化活動団体等との協働し、事業を開催する。
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取組む事項

近隣保育園の協力の元、園児さんたちの作品展である「ぼくのわたしのお絵かき遊び展」を開催。今年度は、絵画に加えて立体作品に折り紙で昆虫を足す参加型展示を行い、連日ギャラリーには、保育園の関係者だけでなく、地域の方にも来場していただきました。市民プラザ建物1階の「地域子育て支援拠点こっころサテライト」のご協力で、自主事業のチラシの配架協力をいたくなど、子どもたちや地域の方のご参加を呼び掛けることができました。

(4) 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	4事業	4事業	5事業	—	—	6事業	—
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	3事業	3事業	4事業	—	—	4事業	—
3 ★	連携する団体数	8団体	6団体	8団体	—	—	8団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携したことによる地域の定性分析	R 4 実績	区民文化祭を除いて、地域の行事の中止が相次いたため、十分な情報収集は出来なかった。
		R 5 達成指標	連携する地域行事の参加者を把握する。
		R 5 実績	区民文化祭実行委員会参加及び自治会との協力を実施 ・保土ヶ谷区民文化祭「写真展」「いけばな展」「かがやき（高齢者作品）展」への協力を実施 ・地域交流室運営委員会への参加（自治会） ・8月岩間祭他協力
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	連携する地域行事の発展・拡大を目指す。
		R 8 実績	—
2	社会的包摂の実現を目指す事業への参加者へのヒアリング・分析	R 4 実績	いくつかの団体のヒアリングを行い、ホールのイベント実施につながった
		R 5 達成指標	ヒアリングにより参加者の意識を調査・分析し、次の事業へ反映させる。
		R 5 実績	視覚障害者の団体が活動の一つとして、当館自主事業に団体で観覧をご希望。ホール内がバリアフリーでない状態をご説明したうえでご参加。本来自由席なところ、他のお客様のご協力も頂き、出入りの際に転倒しにくい後ろ側の席をご案内。他のお客様のご協力も頂き、無事、ご覧いただいた。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリング結果を反映した事業の参加者に、変化を問うヒアリングを実施する。

		R 8 実績	—
3 ★	施設内外 で地域情 報の収集 と提供、 WEB に動 画掲載	R 4 実績	市民プラザチャンネルの解説準備を行った。
		R 5 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 5 実績	地域で活動する団体のご協力を得て事業を実施。協力団体の情報も含めて、web にて広報を実施。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 8 実績	—
4 ★	未来開発 プロジェ クトの実 施	R 4 実績	コロナ対応に鑑み時期をずらした。
		R 5 達成指標	地域の人材との連携を深める。
		R 5 実績	事業協力をいただくなど、複数の団体との連携を深めた。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設と地域の人材によるあらたなプロジェクト・チームを立ち上げる。
		R 8 実績	—
5 ★	こどもと 一緒に参 加しやす い 工 夫 (おむつ 替え、授 乳の場所 を提供)	R 4 実績	授乳スペースをご希望される利用者に、空いている打合室をご利 用いただいた。また、おむつ替えのできる場所が 4 階の 1 か所しか ない点は課題。
		R 5 達成指標	安心して授乳できるスペースを工夫する。
		R 5 実績	おむつ替えのできる場所が 4 階にしかないと、申し出に応じて 3 階打合せスペースを提供。男女ともに入れ、かつ、プライバシー が確保できる場所が必要。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来館者に聞き取りを行い、ご意見・要望などを収集する。物理的に も実行できる点は、反映し改善する。
		R 8 実績	—

ウ 使命 4 を達成するために重点的に取組む事項

市民プラザご利用の団体及び、地域で活動する団体とのつながりの構築に努めました。いわまワ
ークスとの協働事業である「わくわくマーケット×いわまオープンデー」を通じて事業を行うこと
ができ、来年度以降の事業実施につなげます。

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0 件	0 件	0 件	—	—	0 件	—
2	法定点検等の実施	100%	100%	100%	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	121%	90%	99%	—	—	90%	—
4 ★	職員及び共同事業体構成員自らが実施する小破修繕	機材修繕 28 件 設備修繕 2 件	5 件	機材修繕 22 件 設備修繕 7 件	—	—	5 件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	アンケートの中に施設に対する項目を設定して意見収集に努めた。
		R 5 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。
		R 5 実績	アンケートと受付等でのインタビューでご意見を聴取した。 ・ホールの席が狭いし、揺れる。 ・駐車場を利用できる車両に大きさの制限がある。 (身障者用の車は大きい車が多いのだが、制限があるため入れない) ・搬入用エレベーターがない (エレベーターが小さい)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	デマンド監視装置を継続して設置し、光熱費節約に努めた
		R 5 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 5 実績	こまめな節減を行うとともに、電気料節減のため、電気事業者を変更した。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

		R 8 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 8 実績	—
3 ★	施設設備は長く使うことを前提に負荷の少ない運用	R 4 実績	貸出機材・備品のこまめな修繕を行った。
		R 5 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見を心がける。
		R 5 実績	開館時閉館時以外にも、利用者切替の都度状況点検を行い、また、利用者からのご意見も聴取し、小さい不具合の段階から症状の確認と修繕に努めた。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	スタッフによる小破修繕を継続するとともに、施設内だけでなく、他施設とも協力しリサイクル・リユースの範囲を広げます。
		R 8 実績	—
4 ★	事業別収支計画の立案、結果の分析を次回に活用	R 4 実績	収支を月次で計算、また事業ごとの収支計算を行い、内容を分析しました。
		R 5 達成指標	月次収支の精査、事業単位での収支精査。分析の結果は次回に活用する。
		R 5 実績	月次ベース、事業ベースでの収支作成と精査を行った。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取組む事項

職員の機材取り扱いスキルを上げると同時に、利用者からこまめにご意見をいただき、具合を小さいうちに把握し、修繕することに努めました。機材自体が古くなり、修繕に必要なパーツの取得が難しくなってきています。

ギャラリーでは一定期間を過ぎた空き日程への目的外利用の誘致を行い、利用率アップに努めました。

令和5年度 「岩間市民プラザ」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	73,762,000	2,988,000	76,750,000	76,750,000	0	横浜市より（5年度指定管理料通知額）
利用料金収入	17,000,000		17,000,000	17,576,450	576,450	
自主事業収入	6,611,800		6,611,800	6,293,080	318,720	教育プラットフォームを含む
雑入	694,490	0	694,490	735,128	40,638	
印刷代	6,000		6,000	38,720	32,720	館内コピー機利用料
自動販売機手数料	240,000		240,000	298,980	58,980	館内設置の飲料自動販売機2台分
その他（協賛金、助成金等）	448,490		448,490	397,428	51,062	協賛金助成金等
収入合計	98,068,290	2,988,000	101,056,290	101,354,658	298,368	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	51,904,700	780,000	52,684,700	52,660,099	24,601	
給与・賃金	43,755,000	6,183,200	49,938,200	50,021,975	83,775	
社会保険料	6,403,200	5,403,200	1,000,000	874,489	125,511	共同事業体各社で出向者分は負担（給与賃金額に含む）
通勤手当	1,746,500		1,746,500	1,763,635	17,135	
健康診断費			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
事務費	2,139,840	0	2,139,840	2,195,755	55,915	
旅費	50,000		50,000	39,194	10,806	
消耗品費	210,000		210,000	360,363	150,363	コピー用紙、事務用品代
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	200,000		200,000	149,446	50,554	
通信費	1,300,000		1,300,000	1,246,786	53,214	
使用料及び賃借料	81,840	0	81,840	81,840	0	
横浜市への支払分	81,840		81,840	81,840	0	目的外使用料
その他			0		0	コピー機レンタル料
備品購入費	0		0	0	0	32,400円以上の備品購入費
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	56,910	6,910	
職員等研修費	0		0	10,000	10,000	研修費
振込手数料	72,000		72,000	57,348	14,652	
リース料	161,000		161,000	131,868	29,132	コピー機他リース料
手数料			0	12,000	12,000	（雑費含む）
地域協力費	15,000		15,000	50,000	35,000	
事業費	6,611,800	0	6,611,800	4,571,156	2,040,644	
自主事業費	6,611,800		6,611,800	4,571,156	2,040,644	教育プラットフォームを含む
管理費	31,343,570	2,130,000	33,473,570	34,759,462	1,285,892	
光熱水費	9,058,000	2,130,000	11,188,000	12,272,718	1,084,718	
電気料金	6,057,000	1,700,000	7,757,000	7,856,269	99,269	
ガス料金	1,881,000	430,000	2,311,000	2,782,337	471,337	
水道料金	1,120,000		1,120,000	1,634,112	514,112	
清掃費	5,540,370		5,540,370	5,379,000	161,370	
修繕費	800,000		800,000	793,014	6,986	設備関係修繕費、舞台関係修繕費
機械警備費	347,480		347,480	337,357	10,123	
舞台技術員	0		0		0	
設備保全費	15,597,720	0	15,597,720	15,977,373	379,653	
空調衛生設備保守	1,741,520		1,741,520	1,743,591	2,071	
消防設備保守	437,840		437,840	425,084	12,756	
電気設備保守	641,770		641,770	721,094	79,324	
害虫駆除清掃保守			0	264,000	264,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	12,776,590		12,776,590	12,823,604	47,014	舞台音響照明機器保守費、ロールバックチェア、EV保守費等
共益費	0		0		0	
公租公課	5,151,700	78,000	5,229,700	5,356,154	126,454	
事業所税			0		0	
消費税	5,000,000	78,000	5,078,000	5,210,454	132,454	
印紙税	10,000		10,000	4,000	6,000	
その他（均等割）	141,700		141,700	141,700	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	916,680	0	916,680	916,668	12	
本部分	916,680		916,680	916,668	12	経理事務負担分、確定申告税理士報酬負担分、プラザHP保
当該施設分	0		0		0	
支出合計	98,068,290	2,988,000	101,056,290	100,459,294	596,996	
差引	0	0	0	895,364	895,364	